

けんせつ宇都宮

CONSTRUCTION

vol. 320

2021

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様





令和3年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 菊池 三紀男

あけましておめでとうございます。令和3年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当会の活動に格別のご理解とご協力を頂戴し、厚く御礼申し上げますとともに、本年も一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、一昨年末、中国で発生したとみられる新型コロナウイルスは、瞬く間に全世界に広がり、日本国内におきましても多くの感染者が確認され、社会・経済活動に大きな影響を及ぼしているところでもあります。

ここ数年、連続して大きな自然災害に見舞われてきた日本は、また一つ新たな脅威に立ち向かうこととなりましたが、会員の皆さまにおかれましては、万全の感染予防対策を講じながら、社会資本整備の担い手として、さらには、安全・安心な地域の守り手としての役割を滞りなく果たされてきたことに、改めて感謝申し上げます。

一方で、新型コロナウイルスに対する研究やワクチンの開発が進み、ウィズ・コロナの社会を見据えながら、社会経済活動も少しずつ動き出すなど、わずかながら明るい兆しも見え始めてきたところでもあります。

このような中で、昨年は、労働環境の改善や生産性向上などを一層推し進めるため、平成元年に成立した「新・担い手三法」の本格運用に向けて、10月には「著しく短い工期の禁止や監理技術者の専任義務の緩和」が図られるなど、建設業が魅力ある産業として輝くための環境整備が進められてまいりました。

本年も、様々な面で、混沌とした社会経済情勢が続くと思われませんが、地域社会を支える基幹産業として、社会資本の整備はもとより、異常気象

時の対応や地域貢献活動等、地域に根差した活動を積極的に展開していくためには、労働災害の根絶に向けた取り組み、技術力の研鑽や施工力・経営力の向上とともに、優秀な人材の育成・確保に向けて、従事者が働きがいや誇りを持ち、生涯を託すことができる魅力ある職場づくりに取り組んでいくことが必要不可欠であると考えております。

協会といたしましても、総合的な労働災害防止対策に一丸となって取り組むとともに、建設業界における健全で安定した経営基盤を構築するため、働き方改革に資する発注方法の実現や、将来にわたる持続的な事業量の確保に向けて、引き続き関係機関等への要望活動等を積極的に行ってまいりますので、会員の皆さまのさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年の十二支は「丑（牛）」ですが、牛は古くから酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農作業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になると言われております。

新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、地道に突き進むことで、新たな発展へとつながる年になることを願ってやみません。

結びに、令和3年
が、皆さまにとりまして希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



令和3年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。
私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支援をいただき、引き続き県政を担わせていただくこととなりました。今後も「県民中心」、「市町村重視」を基本にしつつ、「地域重視」の視点やデジタル化の動きも取り入れながら、スピード感を持って県政の課題に果敢に取り組んで参る決意であります。

さて、世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は、あらゆる社会経済活動に大きな影響を及ぼしており、県民生活や地域経済は先の見えない不安と危機の中にあります。現下の感染状況や経済動向等を的確に見極めながら、県民の命と健康を守り、県民生活や地域経済への影響の最小化を図るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興に着実に取り組むとともに、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害に備え、災害対応力の更なる強化を図って参ります。

現在、県では、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に続き、令和3（2021）年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ未来創造プラン（仮称）」の策定を進めております。プランに掲げる本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、「人材育成」、「産業成長」など5つの重点戦略により、新しいとちぎのかたちを描き、次の世代につなげる取組を積極的に推進して参りたいと考えております。

今年の夏には、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、来年には、本県で第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。これらの成功に向けて、県民の皆様をはじめ、市町や関係機関等と連携して、万全の準備を進めて参りますとともに、開催を契機として、本県の魅力・実力を国内外に効果的に発信することにより、栃木県の魅力を広めていただく「栃木ファン」の創出・拡大に努めて参ります。

知事5期目の新たな年を迎えるに当たり、私自身がオールとちぎの先頭に立ち、栃木県の輝く未来の創生に向けて挑戦して参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症との闘いの年であり、市民の皆様のご生命と暮らしを守るため、全力で取り組んでまいりました。

本年も、引き続き、市民の皆様のご安全・安心を第一に、新型コロナウイルス対策として、万全な検査体制の整備や、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた支援の充実、台風などの溢水被害の軽減に向けた即効性のある田んぼダムの普及拡大などに最優先で取り組んでまいります。

また、ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、JR宇都宮駅東口地区の着実な整備や、大谷地域の振興などの魅力ある地域拠点の形成に取り組むとともに、令和4年3月の開業を目指すLRTの駅東側の整備を着実に進めてまいります。

さらに、全ての小中学生を対象に導入予定のタブレットを活用した、いつでもどこでも学べる環境の整備や、高齢者などに身近な交通手段である地域内交通へのAIを活用した効率的な配車システム導入に向けた社会実験、地域新電力会社の設立による再生可能エネルギーの地産地消など、まちづくりに先進技術をいち早く取り入れ、誰もがより豊かで便利に、そして、安心して暮らせるまち「スーパー・スマートシティ」を推進してまいります。



宇都宮市長
佐藤 栄一

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年1月末に国内で確認された新型コロナウイルスの猛威は、全世界で留まることを知らず、未だ感染者数は拡大しており、経済活動が停滞するなど、先行きが見えない困難な状況が続いております。

本町においても、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、様々な感染防止対策や施策を講じてきたところでございます。

今後、この難局を皆様と共に乗り越え、本町の発展に尽力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、県内においては、来年「いちご一会とちぎ国体」が開催される予定であり、着々と準備が進められる中、本町ではフェンシング競技が実施されます。町内外からたくさんの方々をお迎えできるよう、会場となる体育センターやその周辺道路の整備を進めております。

また、上三川インター南産業団地も今年工事が完了する予定で、すでに予約分譲も進めており、優良企業の誘致による雇用情勢の改善や経済活性化に繋がるよう努めてまいります。

本年は町第7次総合計画後期基本計画がスタートする年であり、町の将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち」の実現のため、社会資本整備を推進してまいりますので、皆様におかれましては昨年と変わらぬご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宇都宮建設業協会の皆様の一層のご健勝と、ご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



上三川町長
星野 光利

2020.11.18 水

「環境美化で地域貢献」

一般社団法人宇都宮建設業協会（菊池三紀男会長）は令和2年11月18日、「土木の日クリーンアップキャンペーン」ならびに愛りバーとちぎ河川清掃活動（第4回）」を実施した。

晴天の中、宇都宮土木事務所職員と会員企業が建設産業会館に集合後、担当作業箇所へ移動し、午前9時から清掃活動を開始した。

一級河川田川では清掃・草刈り・集草・積込作業を進め、宇都宮市中心部の大通りの歩道では空き缶や吸い殻等のゴミ拾いを行った。

会員企業が継続的に社会貢献活動を実施することにより、地域に根差した建設業としてのイ

メージアップを図り、より一層の信頼を得られることが期待される。

（入江克拓）



田川・宮の橋上流 左岸側



宇都宮駅東口交差点 南側

2020.11.6 金

「家畜防疫演習」

令和2年11月6日、河内庁舎にて令和2年度河内地域家畜防疫演習が実施されました。

この演習は、関係者の共通認識の向上を目指して豚熱が発生した場合を想定し、迅速かつ的確なまん延防止措置を実施できるように、集合施設・防除拠点及び消毒ポイントにおける運営の実地演習が行われました。

演習は、全体での初動防疫についての講義のあと、参加者を2班に分け、集合施設・防疫拠点の屋内会場と車両消毒の屋外会場に分かれ実施され、屋内会場では防疫

の作業に従事する方の流れに従って、防疫服の着脱を中心に演習を行いました。屋外会場では、車両消毒の一連の流れについてチームに分かれて各々の役割分担をし、それに従って演習を行いました。

このような演習を通じて、万全な体制づくりを整えていきたいと思えます。

（亀和田辰紀）





2020.11.17(火)
総合学習支援活動

令和2年 砂場クリーン大作戦！！

令和2年11月17日、宇都宮建設業青年の会は今年で4回目となる総合学習支援活動「砂場クリーン大作戦」を宇都宮市五代の「認定すずめこども園（園児99名）」において実施しました。今回は4歳児対象に3つの班に分かれてもらい3つのセクションをローテーションで体験してもらいました。

今年度の内容としましては、例年では、園児たちと我々が砂場をきれいにする作業をしていたのですが、新型コロナの影響もあり、共に作業をするのはあきらめ、消毒・密な状況をあまり作らない・全て屋外で行うなどの十分な対策をとった状態での砂場の浄化作業を行いました。しかし、我々青年の会は、子供たちに建設業の魅力を伝えることも目的の一つでありますので、ただ行うのではなく園の敷地をいっぱいにご利用させていただき、臨場感あふれる建設現場を砂場クリーン作業として再現する設定にさせていただきました。

具体的な内容としましては、3つのグループに分かれて3つのセクションをローテーションでそれぞれ建設現場の魅力を体験・見学していただきました。

①「砂場クリーン作業」

実際の重機（バックホウ）で砂を鋤取り、ダンプ車を建設現場さながらに砂場まで誘導して新しく砂を入れ替え、ダイナミックにバックホウを操作して砂をきれいに均し、浄化剤をまいて攪拌するという一連の作業を臨場感あふれる建設現場の風景として見学してもらいました。

②「重機その1（バックホウ）搭乗体験」

バックホウの簡単な能力やいろいろな場面での活躍の紹介、稼働させてバックホウの動きを見せ、その後一人ずつ搭乗体験をしてもらいました。

③「重機その2（ローダーまたはタイヤショベル）搭乗体験」

ローダーの簡単な能力やいろいろな場面での活躍の紹介、稼働させてローダーの動きを見せ、その後一人ずつ搭乗体験をしてもらいました。

それぞれの体験で、園児たちも喜びながら興味を示してくれました。

また、栃木県のマスコット「とちまるくん」と宇都宮市のマスコット「ミヤリー」にも参加してもらい、園児たちを盛り上げていただきました。

最後に、今回の総合学習支援活動にご協力を賜りました「認定すずめこども園」の園長先生をはじめ先生方、並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

当青年の会としては、園児たちだけではなく、その保護者の方々にも建設業という業界を知ってもらえるように、今後もこの活動を継続していきたいと思えます。

(増淵勝明)



(砂場クリーニンク 砂入替)



(砂場クリーニンク 砂搬入)



(重機搭乗体験 バックホウ)



2020.11.25^水
総合学習支援活動

令和2年 水害の危険を学ぼう

令和2年11月25日、宇都宮市立城山中央小学校において、総合学習支援活動を実施しました。今回も、栃木県県東環境森林事務所様・宇都宮土木事務所様が市内小学校において、「出前講座」を開催しているところへ我々宇都宮建設業青年の会もご一緒させていただき、実施することができました。

行政の皆様が「産地防災・土砂災害」についての授業をされていることから、我々も災害をテーマとして、「水害」について5年生を対象に体験型の学習をしてもらえよう企画をしました。

初めに、パネルボードを使った座学にて、記憶にも新しい2019年の大型台風に伴う河川の氾濫・越水・決壊といった水害、さらにそれらによって引き起こされる現象などを学習してもらいました。



(座学「水害について」)



(水中歩行体験)

続いて、水害から床上床下浸水によって身に起きるとされる「水没時ドア開閉体験」・「冠水時水中歩行困難体験」装置で水没したドアがいかに重いか、さらに、例えば建物のドア・車のドアがかろうじて開いたとしても、避難所までの道のりが、膝の高さまでの冠水・濁水により足元がとられる・見えない状態での困難な歩行を強いられる体験をしてもらい身をもって学習していただきました。

今回の活動を通して、生徒の皆さんに災害は身近に起こりうるものであること、それに対処する備えや心構え、そして行政・建設業の果たす役割を少しでも学習してもらえた貴重な時間となりました。また、生徒の皆さんが災害や防災、そして建設業について、それぞれの家庭で話題にしてくれることを期待しています。

最後になりますが、今回の総合学習支援活動を実施するにあたり、お忙しい時期にもかかわらずこのような機会と場を提供していただきました城山中央小学校の校長先生・担任の先生方そして県東環境森林事務所様及び宇都宮土木事務所様には心より感謝申し上げます。

(増淵勝明)



2020.10.21^水

令和2年度 献血活動

令和2年10月21日、宇都宮建設業青年の会は、日本赤十字社の献血活動を支援するために、建設産業会館にて献血活動を実施しました。

宇都宮建設業青年の会は、社会貢献活動の一環として献血活動に協力を行っており、今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定されていた出張献血が中止に



なるなど輸血用の血液の確保が厳しくなっていることから、7月に続いて2回目の献血活動の協力を行いました。会員は献血の呼びかけや受付業務の支援を行い、会員企業の社員ら55人が善意の献血を行いました。

(亀和田辰紀)

委員会 活動報告

建設業を広く市民に理解していただくために

総務委員会

今年度の総務委員会の主な活動は以下のとおりです。

①広報誌「けんせつ宇都宮」の発刊

「けんせつ宇都宮」は（一社）宇都宮建設業協会の活動や会員企業の動向などを、広く地域のみならず、発注機関に知っていただくためのもので、年間3回（1、6、11月）発刊しています。

②研修会の計画・実施

会員企業の技術力向上のために研修会を開催しました。今年度は令和2年10月19日に建設産業会館において栃木県土木整備部技術管理課検査班、宇都宮市検査室ならびに宇都宮市上下水道局技術監理室から講師をお招きして、工事の安全や品質に関する貴重な公演をしていただきました。

③会員相互の親睦

「地域の守り手」として地域住民や発注機関の期待に応えるため、会員相互の緊密な連絡体制や相互信頼が大切であるとの考えから、新型コロナウイルス感染症対策をしながら各種の親睦活動を実施しました。

（岩原正樹）

地域の安心安全のために！

建設委員会

建設委員会の活動としましては、河川清掃活動をはじめとして、災害時に活用できるよう栃木県宇都宮土木事務所様・宇都宮市役所様と宇都宮建設業協会合同での「情報伝達訓練」を実施しました。

【3月・7月】愛リバーとちぎ河川清掃活動

【8月】宇都宮土木事務所様・宇都宮市役所様・宇都宮建設業協会合同による道路河川等管理情報システムを利用した災害時対応訓練の実施

【8月・11月】河内地域家畜防疫対策現地連絡会議への出席

【9月】川の日「田川クリーンアップ大作戦」の実施

【11月】土木の日クリーンアップキャンペーンの実施

（入江誠）

安全環境水準のさらなる向上を図る

安全委員会

安全委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、以下の活動を継続して行っています。

①毎月1回の安全パトロールの実施

【4月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール（宇都宮労働基準監督署同行）

【8月・11月・1月】非公開パトロール（宇都宮労働基準監督署・建災防安全指導者同行）

【7月・2月】公開パトロール（宇都宮労働基準監督署・発注行政機関担当者・建災防栃木県支部・建災防安全指導者・会員の店社安全管理責任者同行）

【10月】合同公開パトロール（同上及び塩谷支部担当委員・建災防宇都宮分会各団体担当者同行）

【11月】建災防塩谷分会主催合同パトロールへの参加

②建災防主催行事の設営等の協力、安全衛生、暴力団対策、交通安全等に関する講習会の開催

【7月】安全管理者講習会

【10月】建災防宇都宮分会安全対策セミナーの設営協力

【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会

今後も労働災害撲滅と労働環境の向上を目指して、会員各社の安全衛生対策の推進を図ってまいります。

（阿久津信一）

社会に必要とされる協会を目指して

協組促進委員会

現在、会員企業を中心に工事進捗中の日本初となる「LRT新設事業」（2022年4月開通予定）を進めながら、開通後の維持管理への会員企業の専門的技術向上に向けての研修を進めていきます。コロナ禍となり、新しい生活様式が求められ、建設業界自体のあり方も変化していかなければなりません。同時に、地域との連携は積極的に関わる必要があるとともに、未来のニーズを正確に捉えての提案活動も進めなくてはなりません。地域に活かされている業界として、社会資本の整備・維持管理・災害への対応はもちろん、未来へのまちづくり形成への関わりも模索していきます。

（上野勝弘）

第26回忘年かすのこゴルフコンペ開催

2020.12.26 土

(一社) 宇都宮建設業協会伝統の「忘年かすのこゴルフコンペ(第1回大会・昭和54年12月)」が去る令和2年12月26日(土)宇都宮カンツリークラブにおいて24名が参加し開催されました。

当日は天候にも恵まれ、参加者は感染予防に細心の注意を払いながら、日頃の運動不足の解消とともに会員間の親睦を深めて、楽しいひと時を過ごすことができました。

競技は18ホールストロークプレーでペリア方式にて行われ、結果は和晃建設(株)代表取締役の亀和田守さんが見事優勝に輝きました。

コロナとの闘いに勝利するまでもう少しの辛抱です。健康に留意してご自愛ください。

(石黒靖規)



宇都宮市
教育委員会
からのお知らせ

企業名を掲載した物品の寄附を募集しています ～学校応援制度へのご協力をお願いします～

宇都宮市教育委員会では、市内小中学校で使う物品(企業名記載)の寄附を募集しています。企業から物品の寄附を受け、保護者や地域住民あての通知などに活用しています。寄附団体には市長より感謝状等を贈呈するとともに、教育委員会広報紙や市HPで企業名を周知いたします。また、本制度は、「宇都宮まちづくり貢献企業 認証制度」における取組の1つに該当します。

- **募集物品** 用紙・封筒など※その他の物品も可能です。ご相談ください。
- **企業名等の範囲** 掲載できる企業名の範囲は、事業者名、ロゴマーク、キャラクター及びキャッチコピーとします。
- **申込方法** 寄附物品申込書(様式第1号 HPに掲載あり)に必要事項を記入し、企業名等掲載物品仕様書、物品見本を添付のうえ、宇都宮市教育委員会教育企画課にご提出ください。(郵送可)
また、申込みにあたりましては、宇都宮市HPにて、本制度の趣旨をご理解のうえ、ご応募くださるようお願いいたします。
※宗教・政治団体、教科書・教材会社、学習塾、私立学校からの寄附受け入れはできませんのであらかじめご了承ください。
- **学校応援認証スタンプ** 寄附物品には右記のスタンプの印刷をお願いしております。



～ご協力いただいた企業の皆様～

- ・株式会社 美工電気 様
- ・株式会社 大塚カラー 様
- ・福宮建設株式会社 様
- ・株式会社 五光 様
- ・有限会社 石川印刷所 様



令和2年7月に開催された感謝状贈呈式の様子



【問合せ】 宇都宮市教育委員会事務局 教育企画課

☎028-632-2705

e-mail: u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp

(※「宇都宮まちづくり貢献企業 認証制度」については、

宇都宮CSR推進協議会事務局: ☎028-632-2433へお問い合わせください。)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も「けんせつ宇都宮」をよろしくお願いたします。

2020年は新型コロナウイルス感染に人々が不安になった年になりました。いまだ終息には至らず、この先の経済、私たちの生活がどう変わるか不安な毎日です。

建設業にとっても、昨年の新型コロナウイルス発生当時は資

材調達が困難で、計画が先延ばしになった案件が多発しました。業務体系もリモートになるなど仕事内容も変わりました。

我々、宇都宮建設業協会もコロナ禍の中、今まで以上に栃木県・宇都宮市等と連携をし「地域の守り手」として災害対応などに取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。(末長修一)

けんせつ
宇都宮

■1981年7月創刊
■2021年1月29日発行
■発行: 一般社団法人宇都宮建設業協会
■会長: 菊池 三紀男

■編集: 総務委員長 岩原 正樹
■TEL: 028-636-5221
■URL: <http://ukenkyo.org/>
■E-mail: ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所: 藤崎印刷株式会社
■TEL: 028-633-4530
■E-mail: fff@olive.ocn.ne.jp

